明治廿五年六月三十日印刷
明治廿五年六月三十日出版

（非賣品）

婦人衛生會雜誌

第參拾壹號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生會雜誌

第參拾壹號

目次

演説

◎嗜好物に就て　醫學博士　緒方正規君

◎人乳の話　古川榮君

衛生叢談

◎母のつとめ（前號の續）

◎清潔法のはなし

◎藥用動物麝香獸

◎海外虎列刺と内國虎列刺

◎全國の痘瘡

◎齲齒の原因

◎神奈川縣のコレラ

◎痲疹より耳疾

◎雞の肺病

◎本會錄事

◎會告

◎本會規則摘要

◎本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開き隨て社會全般の幸福を增進するにあり

◎本會は毎月一回第一土曜日集會を開き諸大家を聘し講義演説を囑し會員は勿論同氏族知己の傍聽を得せしめ又之を筆記して毎月會員に頒つ

◎本會會員を分ち終身特別通常學生男子贊成員とし終身會員は入會の節金拾圓以上を收むる者特別會員は毎月貳拾錢以上通常員は同拾錢學生其他事故ある者は會費五錢とし男子贊成員は毎月拾錢を納むる者とす

◎入會せんとする者は何人を論せず族籍住所姓名を記し下谷練塀町四十三番地本會事務所へ御申込あるべし

下谷區練塀町四十三番地

大日本婦人衛生會

婦人衛生會雜誌第參拾壹號
明治廿五年六月三十日發兌

講演

○嗜好物に就て

醫學博士　緒方正規君述

私は此前會に於きまして、食物料理の事に就て御咄しましたが、又其續きで、食物中の嗜好物と云ふ事に就て、今日御話し致します。

吾人の日々に取りまする飲食物は、皆其物は滋養の有る物ばかりでは有りません、其飲食物の中には滋養分の有る物ばかりでは有りません。其飲食物の中には滋養分を保て居る物が有りても、眞個に身体を養ふ力を有するものは、極く僅かな部分を含んで居るので有ります。ソレで人体の滋養の價値は殆ど無い、只僅か其食物に好い味を附けるか、或は又外の目的の爲めに用ゐるものが有ります、之を嗜好物と稱へます。

嗜好物に屬しまするものを、分けて申しますれば、先づ「アルコール」を含んで居りまする飲料物、即ち日本酒、焼酎、葡萄酒、ビール、ブランデー、其外ソップ或は塩、茶、珈琲杯が嗜好物で有りまして、好い香ひのする油或は又食物を料理する時に加味するもの、其料理を致す時に養ひになる蛋白質、(鷄卵の白身に含んで居る部分)と脂肪より〆生じ是食物を料理する時に、分解して出きる物で有ります。又茶並に珈琲の如きも、初めから好い味、好い香いを持ッて居るのでは有りません、或は火に懸けて煎り又種々の製法に因て、茶の味を具へ珈琲の味ひを備へるに至るので有ります。又菓子の如きも、始め其物質自らを味ッて見ますれば、なんの味も無い、然らざれば極く味ひが悪い、去りながら種々の製法に因て、始めて宜しき味ひを有する物となる、則ち焼い

たり煮たりする時は味ひが附く、ソレで嗜好物と申すものは直接に身体を養ふ力は有りませんが、間接には余程利益の有るものであります。或は身体中に於て滋養分の分解を防ぎ、恰度前に御咄し申した通り、車に油を引くと同じ事で、例令ば油を引いた爲め、蒸氣の力或は仕事の力を増すに非ざるも、其力の減ずる摩擦で減ずるを以て幾分の眞個の力の無くならない様にする効能が有ります。又食物に美い味を附れば大變に食欲を増します如何なる滋養物で有ても、味ひの惡い物は食する事が出きません、又味が好ければ、從つて消化し易くなると云ふ、効能が有ります。

總てアルコールを含める飲料物、并に肉汁（ソップ）の如きも、吾人の神經系統を興奮し之を飲用すれば一時氣力を増して。或は力が強くなりたやうな感覺を起す。去りながらソレは眞に我々の力を増したるに非ず只力を増すやうな感覺を與ゆるのであります故に滋養物と嗜好物で代用する事は出きませぬ、即ちソップを滋養物と考へて用ゐる事が數々有りませうが、是れは眞の滋養物でありませぬ。アルコール分飲料物に於てアルコール分の最も多いのは、ブランデーにして。ブランデーを用ゐると、一時体力が増加するやうな感覺を起し。歐羅巴に於ては、貧民は此ブランデーを澤山に用ゐます。ブランデーを用ゐれば、体力が増すと思ふて、ソレを誤解して用ゐて居ますが、是れは決して体力が増加するのでは有りません、却て其爲め反對の有樣に立ち至る事が有ります。又アルコールを含有する飲料物を日本に於て最とも多く用ゐるは、酒で有りますが、俗に酒は狂氣水と稱ゐるくらゐで、其アルコールを保つて居るものは、人の身体と精神を害すると多く、加之ならず、其一身一家を救ふ可らざる程の不幸に立ち至ら

しむる事が有ります。去りながら一方には酒と用ゐた爲め或はアルコールと用ゐた爲め、身体の動作と非常に強くならしめる働きが有る、言ひ換れば一時強く堪ね得る事が出來る。又精神も同じ事で、精神の變發も酒の爲めに堪ゆる事と得べし。故に酒類は一は人の畏るべき敵なるが、一は其用方に因りて、人の信實なる朋友となる事も有りまそ。酒と用ゐて愉快になり且つ氣力と增したる感覺と起そは、其の酒の中に含有するアルコール性分の働きで有りまそ。

其アルコールと申しますのは、砂糖或は澱粉質の發酵に因て、生ず卽ち糀の如き物の爲めに糖類炭酸とアルコールに分解す。

吾人の飲用する酒或はアルコールの、一部分は我らの身体の中で分解炭酸及び水となり。一部分はアルコールとして我々の呼吸氣ゟら排世するのでありまそ。又アルコール飲料物と用ゐると、我々の腸胃に於て、消化液の分泌が一時盛になッて、消化液と余計にこし出します。去りながらアルコールが腸胃に在れば、食物と溶解する事卽ち食物の消化は遲しとすアルコールが胃に多量なれば、食物は消化せずして。動悸が激しくなり、卽ち心臟の鼓動が甚くなる。又脈が大變に早くなる。ソレゟら皮膚の表面、顏面などに於て血管がひろがッて、ソコに血が澤山循ッて來り。血液はアルコールと用ゐると、主に內部に循らずして、外部の方に出す、ソレで顏が赤くなるのであります。而て血液が皮膚に集まれば、皮膚の神經爲めに温められて、恰も熱の出たやうにあつく覺ゆ。併し實際はアルコールが燃ねて熱と起すのでは無く只血液が皮膚に往くゟら、皮膚に在る處の神經が温められて、熱く感ずるのであります。其次に運動も盛になり、氣力も淸々とするやうになり、勇

氣の感覺を起すは。即ち我々の腦髓がアルコールの爲めに興奮せられて、氣分が淸々と致そので有りまする。然して其の次には精神も動作も今までよりも盛になり談話も知らず識らず聲高くなり。其次は魔睡す醉ひ倒れるに至る。故に酒を大變飮む人が前後忘却し、酒に醉て知らなかッた杯と言ふ併しながら其酒を適宜少量に用ゐて置けば、精神に於ても、身体に於ても甚はだしき害はなきが。其適宜の度を過して多く用ゐれば、右の如く次第に其酒の働きが强くなッて遂に醉倒れる樣になる、加之ならず、醉ひが醒めました時分にも餘程氣分が惡い或は其翌日までも、氣分が惡くッて、頭痛がしたり、或は頭が重くなり又は食欲が無くなり、遂には言語に言ふ可らざる不快の感覺を抱く樣になります。所謂彼れを二日醉と申しますが、御婦人方には決して斯う云ふ事は有りません、ケレども男子には殊によると酒を飮み過そやうなことが有ッて、二日醉いなどし申して、極く不快なる感覺になることが有ります。ツレで又た酒を、多量にもちゐれば、感覺が餘程變じて、空腹の感覺を生うせずして、食事をわすれ或ひは、食欲を減んじ、酒醒むれば遂ひに眩暉を來たし、家がグル／＼廻わるやうに感んじて來ることも有ります。

ツレでアルコールは今御咄した通り、決して滋養物では無い、只僅かに我々の身体の中で燃ゑて熱を起し、又脂肪即ちあぶらの分解するのを、少し防ぐ効能が有る。併しながら又一方には、酒を暴飮する人は、常に腹胃の疾病を引起し、身体の養ひも惡くなり、脂肪が少し殖ゑるから肥滿なぞ、其肥ゑたのは外上見から見ゐる通り、内部の大切なる器官に於ても矢張り、多くの脂肪を增し、脂肪が增せば、大切なる我々の内臓の働きが變し、又神經系統は、酒を

用る爲に、始終刺激を受け、視感聴感等に於ても、眞正の働きを失ふに至り、或は酒を多量に用ゐ爲めに中毒症に陷り、聲の無きに聽き、物無きに視ると云ふ樣なる人も有ります。是れと同時に脳も變化し、又脳を包んて居る脳膜も變化して、遂に今御咄したアルコール中毒症に陷る。又兎角酒客は流行病の時も、其病いに罹り易い、例之は虎列剌病杯は酒を多量に飲む人に多く。又歐羅巴の癲狂院と見ますると、其癲狂院の患者は、酒の飲み過ぎから、狂氣になッたと云ふものが多くあります。

アルコール飲料物の中で、甚敷風俗を亂し、且つ身体を害するものは此アルコールを余計に含て居る、ブランデーが一番甚しくあります

其ブランデーは百分中にアルコール四十五分乃至三十五分にして、殆んど其半分はアルコールを含んで居り。又ブランデーに因ッてシヤガタラ芋から造つた「ブランデー」が有りまするか是れは「フセル油と云ッて、余程僅かでも毒の強い物を含んで居ります。「リキウル」はブランデーと略同じ物で、アルコールを多量に含んで居ります、日本酒はブランデー杯よりも、アルコールを含んで居る分量少なし。則ち酒には、百分の中にアルコールが十一分より十三分くらゐを含んで居る、ソレから又葡萄酒は葡萄を搾りまして、其絞汁を醗酵させて葡萄酒に造るので有ります、其時に又一種の好い香ひを與へるものが出きる、ソレをブケと云ひます。葡萄酒にも、種々の種類があり、其種類に從て、アルコールの分量は異なれり、然ども葡萄酒百分中に、六乃至二十分のアルコールを含む、葡萄酒の中でも、ホルト酒はアルコールが十五分乃至四十分を含んで居り。又シヤンパンは百分中に九分乃至十三分のアルコールを含み。ラインで造る葡萄酒はアルコールの分量は少し

葡萄酒の中には、赤葡萄と白葡萄の別あり、赤葡萄は赤い色素を含み且タンニンサンと云ふ物を含んで居り、其タンニンサンは、柿の澁と同じ物で、此物は或は腸胃の加多児には、是れを輕くする効能が有ります、又砂糖の分量も種々の酒や葡萄酒に因て違ひますが、マラガ酒と云ふのは、砂糖の分量が百分中に十分有り。ポルト酒は三分乃至五分シヤンパンは九分乃至十五分の砂糖を含んで居ります。ラインで出きまする、葡萄酒には極く僅かの分量で〇、二乃至〇、四位いを含んで居ります。又日本の酒には、糖分が誠に少ない、百分中に〇、一四乃至〇、三九ぐらゐを含んで居ります、又純良の葡萄酒は先きに御話した通り、葡萄を絞ッた汁から醸造しますが。製造法より外に、卽ち外國抔に輸出するには甚しく變化せざる爲めに、アルコール或は砂糖を多く入れて輸出しまするが、中に他色素を加へ着色したるも有ります。葡萄酒は、元來大變醸造物が多く有まして、其醸造とするには、異の葡萄酒に水を入れ、或は砂糖を入れ、或は良い香の物を入れて醸造します。或は又葡萄を用ゐずに、外の物抔にて葡萄酒を醸造せる事も有ります、又葡萄酒の中で、着色料に唐紅(砒石を含む物質)を入れて、赤く色附けたのが有りて是れは有害の物で有ますから、元より嚴禁しなければなりません。ソレが今日本で販賣して居る處の葡萄酒には、醸造物が余程多く。ベルッ氏抔も却て日本酒の方が葡萄酒よりも利益であると云ふ事を言はれて居ります。

次に麥酒は麥の芽にホップと云ふ蔓(苦い味ひを有すを入れて、水を加へ發酵させて造るので有ります麥酒にも種々の種類が有る、其種類を極く冷めたい、低い温度で醸した物と、高い温度で醸した物との二通りが有ります、ソレでアルコールの分量は、葡

葡萄酒等と比較すれば、余程少なし。獨逸の麥酒には、百分中にアルコールは二分乃至五分位を含み、其外エキスと申しますものが、百分中に四分乃至九分だけ含んで居ります、又蛋白質は極く僅かで百分中○、一乃至一、八ぐらゐなるを以て。ビールを一瓶飲みまするよりも、一碗の御飯の方が養いになる。其外ビールには炭酸及び鹽類を含有せり、而して麥酒も外國に出しまするのは、アルコール分量を多く英吉利のビールはアルコール分を一般に獨逸などよりも、余計に含んで居ります。ビールは麥から製造するのですが、麥五合で一升の麥酒が出來まする割合になッて居る、ソレで隨分食物の中で尊ぶべき麥を用ゐますから、經濟の點より云ッて見れば、隨分惡きものに相違御座いません、食物を潰して麥酒を製造し其麥酒は滋養分少なければなり又有害の物質を入れたるものもありて誠に危險で有ります。ビールの中でも殊に醗酵の良くないビール即ち濁りました麥酒は屢々腹胃を害し、或は下痢を起すこともある、其外種々の害を致すことが有りますから、余ほど御注意をなさらなければなりません。

只今まで御咄し致した所を摘んで申しますれば、嗜好物でアルコール分を多量に含んで居るものを常に少量に用ゐれば敢えて身体に害を來たす事も有ませんが之を多量に用ゐれば、用ゐる程、身体の健康を害する事が甚だし。アルコール性の飲料物も、アルコールを含む分量少なければ、少ない丈に害少し故に英國より。印度に送れる兵士ブランデーの飲用を止めしめ之れに交るに茶を用ひしめたるに余程兵士の疾病に罹るものが少なくなッたと云ふ事で有ります。』又嗜好物中の茶并に咖啡等は別に著るしき害は有りませんが、此事に就ては、他日御咄しする事に

致しませう。』今日は先づ是迄に止めまする。ソレで此アルコールは多量に用ゐまする害が有りまするから、成るべく少なく用ゐる方が身体并に精神を健康にするには宜しう御座いますから、其事を一寸ど御咄しゝたまでゞ有りますと

◎人乳の話（三月五日大日本私立衛生會事務所に於て）

古川　榮君　演説

私は、兩三年前に此會に於きまして「乳の話」と云ふ題でお話しを致しました。併しながら其節のお話しは、人間の乳に就ては少しも申上げませんでした。殊に日本人の乳に就ては余り申上げませんでしたが、今日は、日本婦人、即ち貴婦人方の乳に就て、些の經驗したことが有りますから、それを一寸申し上げます。』今日までに聚めました乳の種類は、百四五十程で御座いますが、其中不適當のものを省いて殊更に一年未滿にして適當の成績を得ましたものを百種聚めました。先づ以て乳は如何なるものであるか、御承知の通り白い水、其白いものは何で有るかと云ふに、即ち脂肪で有る。何故脂肪が白いかと云ふに、論より證據は試驗として御目に懸けませう（試驗管に適度の水を入れ、炭酸曹達を加味し是れにレーフル少許を加ふ）斯く致しますれば御覽の如く自在に乳を造る事が出來ます。此白いのは皆脂肪であります。今乳を三百倍或は四百倍の顯微鏡を以て見まするど此處に掲げて有りまする圖の如く、（良乳と不良乳との圖）即ち良乳は凡そ一定したる大さの球より成立て居りますが、不良乳は之れに反して大小不同の球より成立て居ります、此球の中には併し脂肪許りではありません、其他種々の成分を含有して居りますが、夫れは一々申ませんが、先づ大体は白き脂肪の球から成立て居り、而かも其脂肪が一番

大切のもので有ります。且つ脂肪の分量は、人乳牛乳並に種々の原因に由りて變化し易いものであります故、警察署抔は牛乳を撿査するには、此脂肪の多寡に依て、販賣を許し或は販賣を禁ずるのであります。

是より日本人と歐洲人との乳汁を比較すれば日本人の乳汁には

百分中に脂肪　二、九七四

歐洲人の乳汁には

百分中に脂肪　三、七八〇

其他含窒素物是は(鷄卵の蛋白の如きもの)は日本人の乳汁には

百分中に　一、五三〇

歐洲人には

百分中に　二、二九〇

夫れから乳を味ッて見ると甘味がある、此甘味は乳糖と云ふもので、是れが日本人の乳には割合に多く

百分中に　七、六一三

歐州人には

百分中に　六、二一〇

灰分は日本人よりは歐州人の方殆んど倍あります。

斯樣に分析比較しますると、日本人と歐州人との乳の成分に左程の差異はありませんが、唯乳糖は日本人の方が多くあります、何故日本人には乳糖が多いかと云ふに、其原因は確かに解りませんが或は食物抔の異なる所から、卽ち米穀抔を餘計食する故かと思はれますが、未だ確かには解りません、併しながら、人每に此成績表の通りであるかと云ふに、決して左樣とは限りません、脂肪の少なき人も　含窒素物の多き人も種々あります、此成績表は平均數を取ッたので有りますから、左樣御承知を願ひたい、又乳の成分は其人の年齡出產の多少或は職業等に關係

と有するものなるや如何と研究しましたが、是には深き關係は無き樣に思ひます。乳の色は御承知の通り眞白で有りますが、時として百人に二、三人位は少しく黄を帶びたのが有ります、牛乳も眞白ですが、時として黄のも有ります。或人の話に色の黒い人は乳は黄色であると申しますけれどもさう云ふ譯もありません、現に私の知ッて居る人に色の極く黒い人が有りますから、其人の乳を貰ッて見ましたが、別に黄色でも有りませんでしたから、色の黒い人の乳は黄色いと云ふ譯は有りません、矢張り食物等に原因する事と思はれます、乳は人間のからだから絞り出すもので有りますから、必ず食物に大變に關係が有るに相違ない、殊に妊娠中に食物が惡う御座いますと、ソレが爲め乳の出が惡う御座います、妊娠しますると御承知の通り豫て好きの物も嫌いに成り、好かぬ物も食べたくなるもので、魚抔は一切嫌忌だと云ふやうな人も御座いまそ、其外の肉類もいやになり、それが爲め乳が少しも出ないで困ッて居る人が、幾らも有ります。

食物の外に乳に大關係ある事は、實は一人の乳に就て、實地經驗を致しましたのですが、此乳母は明治元年十二月二十日の生れで、今年二十五歳で御座います、身體は强壯で乳も隨分出ました、其乳母に就て如何なる經驗をしたかと云ひまするど、御承知の通り、通常乳母と云ふものは色々の物を食ふです、併し唯食ふ斗りでは往けない、ソレに適する丈けの運動を仕ないと食物は消化する道理は無い。運動を適宜にするのが必要であると云ふ事を、乳母に就て僕は一層確めました、運動の極く少なかッた時には、前にお話した所のからだの加減、或は食物等に依て直ぐに分量の變り易い脂肪を計りました所が、百分中に一、九五、ソレでは少しく脂肪が足りませんから、

何處から何處まで往ッて來いと、一定の道を定めて運動させてよりは、百分中に二一、二六に殖ゑました、勿論食物も注意して、滋養物を食へさせて置きました、其後も追々に殖ゑて、三五八に成りました、尚ほ運動がよくなるに從ッて、脂肪が殖ゑて參りましたが、鳥渡風を引いて暫く歩行かんで居りまする中に、元の如く一、九五になりましたから、又運動をさせますると、今度も非常に殖ゑて、四、一九になり、段々に脂肪が殖ゑて、好都合になッて參りました。是れは乳母に限らず、苟くも人の母たるものは、食物は成るべく滋養品を擇み、適宜の運動をするのが乳もよく出て、且つ自身にも大なる利益が有ります、斯くの如く乳の變るにつれて、子供の貫目も變ッて參りまして、今申した如く脂肪が多くなれば、從ッて其貫目も次第に殖ゑるやうで御座います。

乳の運動に關係有る御話は是位ゐにして置きます。

又乳を飲せる事に付きましては、前に「乳の話」と云ふ題で略申上げましたから又今日申さんでも宜しいが、一言申上げたいのは、人間の乳は赤兒の食物で手遊で無いと云ふ事です、泣いたから、ドウしたからとて無暗に乳を飲せるは甚だ惡い、一日に何回との定めて飲ませ、始めは日に六回とか八回とか定めて飲ませ、成るべく夜分は飲ませないやうにしますると、母も眠られますから、からだも休まります、又サウ云ふ風に慣習を附けますると、小兒もソレに慣れます。現に私共の子供も時を定めて飲せて居りまする中に此頃はスッカリ夫れが慣れて仕舞ひましたから、皆様方に於ても無茶苦茶に飲せないやうに御注意を願ひたい。

終りに、此乳に就ては尚ほ深く研究を致したら御座いますから、澤山に乳を集めたいので御座いますが、何卒乳母の乳でも何でも、是は凡そ二寸位の小

瓶)に一杯位づゝ頂戴することが出來れば幸福で御座います。私の演説は、誠に簡單で御座いますが、今日は是れで御免を蒙ります。

の丁

衛生叢談

◎母のつとめ　(前號の續)

今日は先達ての續きを述べます。此間小兒の遊びの内には働きも勤めも。そして樂しみもみんなあつまりてゐるものと申ました。そこで今日は其の遊びの模樣と要用に就きてれはなしいたしましやう。また小兒が極く小さく充分言葉の通じないときには。其の父母や或は敎師の敎ゆることが。どふいふ働きと小兒の心にあたへるのと知るとは甚だ六かしきものでござります、併し小兒の遊びのたによりて其の心の底は知なるゝものでござりまして。すべて小兒は三つの仕方に於て其の性質を著はすものでござります。三つの仕方と申すは顔つきと言葉とそして行ひでござります。この三つは小兒の遊びの内に常に著れましてそこで。父母や敎師がたとへ其の小兒の遊びがいくら不器用または不充分に見へても。決して其の仕方上邊計りに眼を着けないで。必ず其の行ひに就きて心の働き。即ち小兒といふものは大人から見れば甚だ不充分の遊道具を持ちて世の中の滿足したものゝ眞似を致すものでござります。假令は二つ位の小兒は父親の杖を横にして其の上に乘り。ポッチャンは腰を掛ける抔といひ。また紙切れを持ちては新聞紙や書物抔を讀むといひ。砂糖の菓子を買ひてはまんくことといたし。即ち料理の眞似をし。また時としては。むすこと娘兄弟を遊ぶ時にはよく夫婦となりた眞似をしませうが。その時は夫婦喧嘩の眞似や父親が母親を叱る眞似などいたしまして。其

の父母の行ゐのよき事とわるき事もみんな著わします。是れが則ち其の父母は平生氣が着ないで居ても。いつの其の小兒の心の働きに與へたる結果と申す者でござりませう。このやうに小兒の遊びは小兒の性質や考へも寫し出す鏡でござりませうから。其の父母や教師はよき事計り其の鏡に現はれる樣教ゐ導のねはなりません。小兒と退屈させるはぬるいと教ゐる道理でござりませう。夫れで小兒には常に退屈したりわきたりしない樣に。面白く樂しみ遊ぶ事や致すことと與へ無ければなりません。善き遊びの間には小兒はわるひことには心も傾むけず行なひも致たしません。ドイツの名高き先生のヂーステルウェグと申す人の言ひましたに。若しも小兒の遊びが其の心に適ひ十分の樂と得たなれば。不行儀の心は盜人のごとくしのんで逃げ去る。と小兒と教しへるには遊びと以て致しますが。一ばんたやすく一ばん宜しく又一ばん道理に適ふ手だてでござります。叱りても懲らしても間のなひ極くわらっぱい男の子で。若し其遊道具や遊ぶ事柄が能く其心に適ひわてはまるならば、追々おとなしく行儀よくなりまして遂にいつの間にの其の爭ひ心や行ひと。其の善き考へと仕方の爲めに入り替りて仕舞ひます。小兒は其の遊ひのうちと遊びに伴ふて物事と正しくすること。時と違えぬ事。勉强する事。物に堪ゐ忍ぶ事。人と交ること。人に從ふこと。人と結ふとなど。すべて世界の事柄とたやそく習ひ覺ゐるものでござります。そこで小兒の遊びにはどんなとや。どんなことがらが要用であるのといふとと能く知らなければなりません。總て遊びには其の遊びにつきての道具の又はその基となるものか無ければなりません。學校に行く位の小兒は大概鞠の獨樂の凧の類　或は其の已れの身体と道具として遊びますが。まだ夫れより小さ

き小兒でも何か矢張り一つの遊び道具を欲しがりますから。相應の物をあたへなければなりません。夫れにもしも何にも遊道具がなきときには。何でも自分の廻りにあるもの。そして大人の爲めに大切の品でも搆わずに持ちて遊びます。一たい小兒は土や石や木ぎれや鞠の樣な物を好みますが。併しいつでも斯樣なものばかり持ちて遊びは致しません。切れものや時計や或は附木など色々あぶなきものか又時としてはお金など持ちて遊ぶ事がござります。又小兒は自ら此のからだを遊道具となしてあそぶ事を好ます。たとへば馬になりてヒン／＼はねたり。蝦蟇になりて。ピヨコ／＼。飛んだり。或は猫と鼠になりたり。鬼になりたり。己れ其の道具となりて遊びます。遊びの事柄と申すものは大きく二つに分けられます。其の第一が生活のなき遊び道具即ちおもちやを以て遊ぶこと。其の第二が生活のある遊び道具即ち自分みづから或は友達や兄弟と互ひに遊びの道具になりて遊ぶとでござります。此の二つの遊びの仕方は唯上遊ばかり違ふではござりません。能く氣を着けますれば必ず此の内部即ち精神も違ひて居ります。そこで小兒がおもちやを持ちて遊ぶときは此のものに自分の考か或は望みを移してあそびます。夫れで人形を持ちて遊ぶときには自分のおもひ通りの話をしたり。心の儘に動かしたり致します。此に一つのはなしがござります。或る娘の子が其の母親の餘所に參りました留守に人形を持ちて遊びて居ましたが。餘り母親の歸りが遅くなりてかなしくなりたとき其の人形に向ひ。おつかさんは直きおかへりになるからおとなしくまつておいでよ。と自分がいつか聞きた事を此の人形に言ひ聞かせながら。自分を慰めたと云ふことがござります。又男の子は能く父親の杖などを馬にして。パイ／＼ドウ／＼と聲で

掛けながら乘りあるくことがござりましやう。是れが即ち自分の考と其物に移し。馬はあんなものでもあろふと其の心と遊道具に移して遊ぶと云ふ譯でござります。

(以下次號)

◎清潔法のはなし

五月雨の降りしきる雨天にて、あたり近所も寂寞として聲なし、(奥)入梅とは云ひながら、よく雨の降ること……今年は疱瘡がはやり、痳疹がはやり、腸窒扶斯が流行り、聞けばコレラ患者も出來たとは、中々油斷ならぬこと、ソレに此時候ではなんでものでも皆のびて仕方がない。オー「のびと云へば(さん)にチト云ひ聞のせて置きませう、ソウシヤ〳〵(さんや〳〵) (下女)へ エー御呼びなさい……

……(奥)コウ毎日〳〵雨が降つては物に黴が生へていけないからよく氣を付けて臺所などは取りわけ清潔にしなければなりませんよ、(下女)エーモー毎日々々の雨降りで御戸棚のすみ流し元などは、たきに蜘蛛の巣や鼠のふんやらおまけに黴が澤山はへて〳〵て仕方がありません 此御天氣では迚も仕樣模樣も御座いませんが精々奇麗に致します………

(奥)御前はなんだチエー雨めが降ると戸棚のすみや流し元に蜘蛛の巣や鼠の糞のたまると云ふがそんなことがあるものかね、夫れは雨めの降るせいではない、御前のぶしやうから起ること、少しの間でも臺所と見まわらぬと其れではなりません……黴かばへても仕方がないとは何んの事だね、(下女)恐れいります御前は物の黴は何んとも思はぬ樣だが、

(下女)ハイ黴なんぞ一向平氣で何んとも思ひません大概はもつたいないと思つて食べて仕舞います

(奥)コレ〳〵其れは大變此のび程恐いものはない、ソレでは今日は閑暇もあるから、心得のため「かび」

の話を聞かせましやう。総べて穢い物を余計に出すのは臺所で、實に臺所程穢い所は無い、流し元などに余り穢いものを無暗に捨てたり、又は穢ないもの、洗濯などは仕ない様によく氣を付け、井戸端などには塵芥不潔物を捨てぬ様にしなければならぬ、就も井戸端はいまに「タヽキ」にして其先きは土管で遠くまで流すつもり、ドウも板であると直きにソコから水が差すからソウなれば、なほさら注意しなければ何の功もないこと、総べてこれ等に氣を付ければ流行病などに罹る患ひはない　（下女）ヘイヘイ以來は氣を付けて致しませ、毎日御臺所の板の間は油雜巾で奇麗に拭き鍋釜茶釜は一生懸命磨いて居ります、（奥）御前はなんだね只釜茶釜許り磨いてイクラ奇麗にしたからと云つて、迚も衛生の目的を達する事は出來ない、隅から隅まで清潔にしなければ矢張り病氣の毒は幾くらも廣がります。（下女）（奥様！）衛生とはなんでございますかどうぞ御話し下さいまし（奥）衛生法と云ふは先づ一と束にからげて云へば、水道を引くとか下水を清潔にするとか、掃除規則を設けるとか、或は一市街々々で申し合せてする事で。是は「公衆衛生」と云ふて男子のする事で、婦人のしなければならぬ事は、一家の衛生総べて家の内外を清潔にすることである、人が年を取ッて自然に死んだり、或は七歳以下の者の死するのは別として、壯年の人が最早充分世の中の用にも立ち、一家の主人にも仕様と云ふ者が、一朝と病氣の爲めに斃れるのは多くは流行病傳染病である。其傳染る病氣は此節流行する所の肺病、或ひは子供なれば「ジフテリア」其外熱病等で、其熱病の傳染するは種が有ッて傳染るのです、熱病或は虎列刺には吐いた物下痢したものゝ中に病氣の種が有る、其種がドウして他の人に傳染るかと云ふに、其病氣の毒が人々

の體に這入ッて病氣になる、併し誰れも其排泄物といじるものもなければ、嘗めるものもないがそれと始末した器なり布れッ片しなりを井戸の近邊で洗濯したり溝の中に打捨てると病氣の毒と云ふものは、誠とに目に見江ない程の小いさいもので、ソレが濕めりたる地面に落ちて一ッの種が幾千にも殖江る、その殖へる有様は丁度黴菌の生へたものゝ様に殖へて、ソレがだん／＼濕めり氣の多い方に殖へて。飲み水の中に傳りて人の身躰に這入り。夫れが病氣の原因となる。夫れ故一軒の家に病氣が有ッて。その毒とソコに打ち捨てるとソレから段々に多くの人に傳染の廣がつて來るのである、また水道は宜しいけれども若しも病氣の毒が地面に浸み込むと、平生は便利で好いけれども一度毒が這入ッた以上は、水の廻ッて行く時には、ドコヽでも病氣の毒が廻ると云ふ不都合も起る、又高臺邊では井戸と違つて居るが井戸側は多くは粗末で差し水のせぬことはない、其上に穢ない流し元が必ず附いて居りますから、兎角井戸には穢いものが浸み込み易い、ソレラの原因で病氣の毒が廣がッて行く譯であるから、先程話した通りよく清潔法を守らねばなりません。(下女)私は衛生の事はなんにも知りませんでしたが只今の御話を伺がつて身の毛がよだつ程恐ろしくなりましたコレカラ衛生に心懸けませうが其病氣の種とは如何なもので御座いますか。(奥)ソンナラば病氣の傳染る事が分つたら其病氣の起る種を話しませう。總べて物が腐れば……よくふのちんに穢ない黴菌が附くが「バクテリヤ」と云ふものは夫れと同じ物で、アノ黴菌と云ふ者は何にでも附くもので、其黴菌の附いたものが傍にあると、直くに傳染り易い、試めしに正月に搗いた黴の餅と此頃搗いた新しい餅とを一つにして戸棚に入れて置けば、翌日はさつ

と新らしい方の餅にて黴菌がうつゝて居るに違いない、斯う云ふ恐ろしい「バクテリヤ」が水の中にも有ることがあるゆへ毎日よく臺所を隈なく掃除となし、戸棚の中も沸へ湯で雑巾を絞つて拭き上げ、飲食を取り扱ふ道具は一旦熱い湯を通してかわいたふきんで之れ又拭き上げ、戸棚の如きは双方開け離し押入等に腐れた物のないやうに、始終掃除をして病原を絶つ様にしたい者でも、此の「バクテリヤ」と云ふ者は病の原因になる大變恐ろしいものであるから、よく覺へて置きなさいよ、マダ種々之に付ての話もあるが又閑暇の時は話しませう。　（下女）永々と御話しを伺ひまして「バクテリヤ」の恐ろしき衛生の大切なることを知りました此後は急度實行致し衛生の法に心懸けて精勤致します。　（奥）其れで此話を忘れてはなりませんよ。　時自鳴鐘チンチンチンチン

○藥用動物麝香獸　麝は其形能く鹿に似て長さ三尺許、二個の牙は口外に彎曲して、其食用とする草根を拔くに適せり、耳は細長く尾短く毛色は深鐵灰色なり、性怯にして日中は潜れ夜出て、食を求む、食料には芳香性に富みたる植物を食ひ、其食料の如何によりて其麝香に良否を生ず、冬月孳尾の期は麝香の汾泌殊に盛にして其香ひ甚だしと雖ども、夏月は之を消失すと、故に冬月を撰び之を捕へたるものは最良品を得ると云ふ。

麝香は楕圓形の毛袋中に包まれ汾泌物にして、牡獸の臍と陰莖前皮との間にあり、前に分泌口を開き、其後に陰莖の前皮を見るべし、麝香は放龍刺戟の性を有し、且強臭苦味を帶ぶる脂肪質の軟塊にして毛袋卽麝囊あつて之を包む、其内面は陷凹して毛なし、其周圍には旋渦状の毛を生ず、之を貯蓄するときは百年の久しきも其香を滅さずと云ふ、然れ共此

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

麝香氣は獨り麝獸のみならず動植物にも多少之を有せり、殊に黒人の女には月經中に混じて大に之を排泄すると云ふ。

其産地は支那東京及西藏ヒマラヤ山等に産せるを良しとし、又西比利亞産の如きは劣等の者に屬す、支那雲南の産の如きは中等に屬するものなり、麝香は其價の貴きと其產出に限りたるとにより、隨て贋造品多く殆んど其純良なるものなし、此贋造法を初めたるものは支那人にして追々歐米諸國に及び其精巧を極むるに至れりと云ふ、支那國に行はるゝ贋造法は麝袋を切り開き、其内に贋造品なる混合物を塡め、或は陰囊に塡むるとありと云ふ、又牡犢の乾きたる血は能く麝香に似たれば多く贋造品に用ゆ、功用は興奮劑、鎭痙劑、として血液の循環を能くし、大抵の痙攣症に用ひて多少の効あり、又阿片と混じ服するときは、癲癇、喘息、百日咳、心氣動、虎列刺病にも其効ありと、痲痛の如きも亦痙攣症にして之を要すと、然れ共一般に之を用ゐると能はさるは、其價の貴くして純良なる品を得ること能はざるが故なりと云ふ。

（右日本藥業新誌中摘拔）

●海外虎列刺ト內國虎列刺　五月廿七日「カルカッタ」發の報に據れは、阿富汗坦國の「カブル」に虎列刺病盛に流行せり、又印度北西地方には四月以來該病に患ふる者多く在留外國人中にも罹るものありと、去る七日香港發の通信に見江たり、本府に於ける昨年の「コレラ」は四月十五日芝區に始まりしが、本年は四月八日牛込區市谷町に發生したり、時下不順且痲疹腸窒扶斯等蔓延の兆候あり、加ふるに追々海外よりの虎列刺沙汰に接すれば、何時虎軍の襲擊あるやも計り難し、用心緊要劒呑〳〵

●全國の痘瘡　痘瘡は客年十一月初めて發より以來、本月十七日に至る全國の總數は二万八百六十

六人にして内四千百二十五人の死亡あり、東京府下に於ても劇烈なる際には、一日百人以上の患者を出すに至れり、種痘の要必茲にあり、

●牛乳を無害と爲す簡便法　牛乳の中には種々の「バクテリヤ」を含み、屢々害を飲用者ぬ與へ、時としては實布的里亞、窒扶斯、虎列剌等の傳染病の媒介となすのみならず、特に恐るべきは之より勞症即ち結核病を傳ふることにして、之を防ぐには是非とも一度之を煮沸せざる可からず、煮沸せる後は之を密閉して、再び他より「バクテリヤ」等の侵入せざる樣處置せざる可からず、煮沸して此の内に含有せる「バクテリヤ」を殺し盡したる后、紙片或は「キユルク」等を以て蓋となすも、之れによりて決して他より「バクテリヤ」の侵入するを防ぎ得べきものにあらず、之を防ぐに西洋に於ては種々の器械あるも、最も行はれ易きものは「ツキンレツト」氏並に「オルレンドルフ」氏の方法あり、其方法は護謨板を以て乳を盛れる瓶口を密閉し、直ちに火上に置くか或は沸騰せる湯の中に容れ恰も酒の燗をなす如くにして、大凡二十分間計り煮沸するにあり、我國に於て最も爲し易く、且つ確實に此目的を達し得べき方法は、每朝配達し來れる牛乳の瓶口に綿の栓を込め直ちに火鉢の火の上に置くか或は鐵鑵の湯の內に入れて三十分程煮沸し飲用する迄其儘に置く法なり、而して充分に綿を以て栓とし充分に煮沸せしものにして其綿栓を除かざる以上は、大凡六ヶ月間は毫も腐敗することなく蓄るを得べしと雖も、斯くせば盛夏の候と雖も久しく蓄ふることを得衛生上經濟上に大益あるべし。

（大日本私立衛生會雜誌抜）

●齲齒の原因　齒牙の一部腐れ漸次に侵蝕して齒の成分を軟かにし、或は齒の髓に及ぼし甚だしき

疼痛を發する者を齲歯と名く　此症は概ね大小臼歯は咀嚼面に始まり、前歯は側部に起るを常とす、又一種傳染性にして隣接せる數歯を害するに至るあり

今此原因を記さんに、第一、歯牙の組織善良ならずして象牙質の柔軟なる者、第二、飲食物の害、即ち甘きもの酸きもの（歯を酸に浸すときは溶解る）を嗜み、或は急劇に冷たき物、熱き物を用い、或は硬き食物を噛み、若しくは細き砂を咬みたる等より三川、歯の琺瑯質を缺損するに由るもの、

第三、口中諸病の爲めに津唾を酸性に變し、或は榮養分不足にて胃中に酸液を釀し、爲めに歯質を溶解するは由るもの、

第四、歯を打ち破り、或は拔歯の際、過て琺瑯質の一部を損じたるもの

第五、保護の怠慢及　歯列び不整にして食物の滓查、歯の間に殘り居り之れが掃除を怠り、或は粗粉の歯磨を用ひ、爲めに歯の質を害したるもの、

第六、齲歯苦痛の爲め、猥りに藥用し爲めに之れが害を蒙り、口内の粘液膜を荒廢したるもの、

以上諸種の原因ありと雖ども、就中酸性の爲めに歯の質を溶解し、以て齲歯を生ずるを最も多しとす、

○腸窒扶斯病猖獗　府下の腸窒扶斯病は益々烈しき有樣にて、日々本所避病院へ送院するもの二三名宛もある由なるが、近頃同院の在院患者は百七拾余名痘瘡二十五名なりと云ふ、

○神奈川縣の初コレラ　同縣橘樹郡町川村農内鉄五郎（廿七）は去廿一日類似虎列刺に罹り死亡したり原因は多量の焼酎を飲みたるに因ると、

○痲疹より耳疾　先頃流行せし痘瘡の後に續き耳疾を患ふる者頗る多ありしが、今度流行する痲疹後にも耳疾に罹る者少なからざる由、此始めは耳の中に痛みを生じ、次で頭痛烈しく耳のまわり腫れ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

眩暈、嘔氣等の腦症を發するに至ると云ふ、其豫防法には病中に始終口内を清潔ならしめ、含み藥を用ふるにありと、

○鷄の肺病　駒込千駄木林町二十三番地醫師中西某は、此程鷄に肺疾あることを發見し、其尤も甚だしき者に於ては人類に同一なる者ありし由なるが、之と肉屋或は料理屋にて知らず〳〵料理に調製する時は、其害少からざるべしと、啻に日本のみならず普く萬國に之を報道せんと目下計畫中なりと聞く」

本會錄事

◎六月例會　六月四日第一土曜日午後一時より京橋區宗十郎町大日本私立衛生會集會室に於て本會の例會を開く講師河本重次郎君（死亡に就て）の演説あり終つて散會せり

◎六月中本會へ入會せられたる諸君左の如し

◎加藤會長の紹介により

三重縣津市西町三十三番地　贊成員　野口安次君

◎會員御厨富子の紹介により

横濱戸太村太田二千百二十五番地　通常會員　河内登子

◎保育園岡田三壽子の紹介により

本所長岡町養育院　通常會員　水沼なを子

◎贊成員齋藤澤吉君紹介により

日本橋區新大坂町　贊成員　佐藤貢造君

仝新大坂町三番地　仝　島野太郎君

會告

一來七月八月は例により本會の講演相休み候

保育園設立趣意及規則摘要

夫れ母の赤子を乳養するは天性に出るが故に實母の乳汁を以て實子を保育する時は母兒共に大益ある事ながら其体質に由りては親ら乳養して却て母兒共に害を蒙ることあり其他不幸にして生母の早く世を去り或は哺乳乏しく又種々の已むなき事情ありて親ら乳養することの叶はぬ等の塲合ありて生兒を他人に托し保育せしむる者あり是世に謂ふ里兒にして間々嬰孩育養の法に疎く夫が爲其兒の健康を害ひ遂に不治の病を醸すに至り始めて之を生家に告げ父母をして無念の感を起さしむる者少しとせず本會の深く杞憂する所なり玆に諸大家諸士の賛成を以て育兒の一法を設け食物衣服居間より嬉戯玩弄の品に至る迄悉く衛生の原則に據り專ら慈愛の心もて委托を受し兒子を保育し若し疾に罹りしことあらんには小兒科専門の本園主任醫に診察を乞ふは申す迄もなく平素無病の時とても時々之に健体診察を受けしめ病を未萠に防ぎ健全に成長せしめんとす而して入園兒は生後三十日以上とし哺乳兒は乳母若くは精撰の牛乳を以て養育するを常則とす但し特別の他は望に依り相互協議の上乳母を選傭する事を得入園料は特等一ヶ月七圓並等五圓とす目下(欠員)あり詳細の規則御熟覧の上速に御申込ありたし

麹町區一番町十二番地

大日本婦人衛生會附屬

保育園

靜修舍規則

第一章　總則

第一條　靜修舍は女子に必要なる枝藝を講習し他日一家を整理するに適する性行を薫陶する所とす○第二條　教授の科目左の如し○一　裁縫（和服　日本裁縫一式○二　調理法（日本料理）○但し裁縫及料理科に付西洋風を學ばんとの志あるときは多數を得て更に設くべし○三　女禮式（坐作進退より日本普通女子の心得方等より漸次點茶挿花の一とを通り講習す但し花代は自辨とす）○第三條　修業年限は豫め之を期程せず一に修業者の志望に任す○第四條　授業時間は一日入凡七時と定む但し日の長短により伸縮することあるべし○第五條　入舍せんと欲するものは東修金一圓を添ひ左の書式に準し願書を出すべし（願書式は茲に略す）○第六條　入舍の許可を得たるものは左式の證書を出すべし○第七條　四科目講習料は一ヶ月貳圓毎月三日迄に納むべし○但し裁縫は日曜大祭日を除くの外教授す料理は寄宿生にかぎる○月謝　裁縫五拾錢○花五拾錢○茶の湯七拾錢○女禮式五拾錢　裁縫のぞくの外三科目習はんと欲する者には一ヶ月月謝壹圓五拾錢とす○右教授三輪松琴亭○科目日定　第一木曜日（花）○第一土曜日（茶）○第二木曜日（花）○第二土曜日（茶）○第三木曜日（花茶）○第三土曜日（花茶）○第四木曜日（花）○第四土曜日（茶）○毎月曜日女禮式○第八條　入舍するを得るものは年齡十二年以上の女子にして品行方正なるものに限るべし○第九條　保証人丁年以上にして東京府下に居住し一家計を立つるものに限るべし○第十條　本舍は修業者の便を計り寄宿を許すべし

尙本紙に揭げざる舍生心得寄宿舍規則等は別に細則を以て之を定む

東京市麴町區有樂町三丁目一地番

靜修舍

私立大日本婦人衛生會事務所
東京下谷區練塀町四十三番地

本會雜誌編纂委員　太田いく子　鈴木まさ子

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　私立大日本婦人衛生會

編輯兼發行人　東京麴町區三番町六十七番地　巖本善治

印刷人　東京麴町區上二番町十八番地　八木吉六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN